

## 第83回定時株主総会への質問

沖電気工業株式会社  
取締役社長 篠塚勝正殿

私は本庄工場の直接現場で働いている従業員株主です。直接員と間接員との格差が広がっている現状を改善していただきたく、株主総会で質問をしたいと思います。例年の総会では事前の文書質問に対する回答は質問者の納得の得られないおざなりの回答でした。株主の疑問を解消できるような回答をよろしくお願いします。

- 1、現在必要な情報のほとんどは社内メールを通じて連絡されています。最近では沖ニュースもメールにて配信されるとの事です。私たち現場に働いている従業員にはパソコンも貸与されず、ましてや、メールアドレスも、ありません。社内情報の共有という点からも大変重要な問題と思いますが、改善の方針を聞かせてください。
- 2、篠塚社長の方針に対話の重要性がいられています。直接員には、MBO の提出もなく上司との面談が重要な対話の柱になっています。しかし、この1年間上司との面談は一度も行われていません。成果主義のグレードも納得を得る説明をすることになっていますが昇給時・グレード改定時にもありません。賃金体系の根幹をなす従業員の納得性は上司との面談しかありません。F+F など面談を重視する方針の徹底をどのようにはかるのでしょうか。
- 3、取締役の平均報酬は2004年2800万円、2005年3118万円、2006年3518万円と増加しています。今年度は大幅な赤字で従業員の賃上げも2008年1月からに繰り延べされています。さらに、2001年に再建協力金として従業員平均賃金の6%を会社に提供しています。この返還も先延ばしです。取締役の報酬や優遇が今年もされるのならば、納得がいきません。取締役の報酬の考え方を聞かせて下さい。
- 4、身障者雇用率を教えてください。もし、法定雇用に届いていない時にはいくら、国におさめていますか。
- 5、沖電気には不払残業（サービス残業）はないと言うのが毎年の総会での回答です。しかし、私の周りには、19時～20時まで職場に残っている人が多く見受けられます。法令順守を方針に掲げている沖電気では不払残業はあってはならないことです。すべての職場から不払残業をなくすための方針を聞かせてください。
- 6、従業員の健康を守るための毎年の健康診断は重要です。健康診断で重要な疾病が発見されたケースもあったと聞いています。2005年から経費節減のためか健康診断の項目が減らされています。法律で定められている項目を実施するからよいのでは従業員の健康を守る事になりません。胃の検診を初めとする項目を増やす方針はないのでしょうか。
- 7、沖電気でも、成果主義賃金制度の導入やリストラの影響で、心の健康（メンタルヘルス）を害して休職する労働者が増加していると、労働組合などから報告されています

が、過去1年間のメンタルによる休職者数および自殺者の数を教えていただきたい。

8、少子化が言われ各企業でも様々な支援策が実施されています。沖電気は少子化対策でどのような施策を考えているか教えていただきたい。

また、「女性登用に積極的な企業」(2005年)として評価されている沖電気ですが、直接職場の女性社員も含めて「制度が使いやすい」ことが重要です。

育児による短時間勤務制度を利用し復職した場合の実態を把握していますか。元職場があっても、本庄地区のように「所属はキャリア開発チームで他職場へ応援に行く」という不安定な事態は制度が使いにくくなり、社外評価とはかけ離れた「働きにくい」企業ということになりませんか。

9、旧由布院町での沖電気の談合事件は2006年12月21日に談合を認める判決が大分地裁で出されました。沖電気はこの判決に納得できないと福岡高裁に控訴しました。現湯布市は控訴を見送ったのになぜ、沖電気は控訴したのですか。詳しい経過と控訴理由を聞かせてください。

10、株主に配当をすること。株価の安定に尽くすこと。従業員の生活を守ることは企業として守るべき条件と考えます。篠塚社長が就任してから、10年間に企業の赤字が5回、従業員数は5579名と半減しています。赤字のたびに人員減を繰り返し、2007年には株価は一気に下がり、一時は200円を割り込むところまで値下げしました。今年も配当はないとの報告ですが、篠塚社長の経営責任は重大です。社長退陣を含む責任があると考えますが、どのように考えますか。

以上の質問にお答え下さい。

株主番号 00426341

埼玉県児玉郡上里町七本木2553-7

北村晴夫

2007年6月20日